

# 現存被ばく状況にある放射性物質で汚染した物品の再生生用に関する安全確保のための防護の体系の構築と安全評価手法の開発

## 被ばく状況

### 計画被ばく状況

- ・ 計画的に防護可
- ・ ルールしっかり



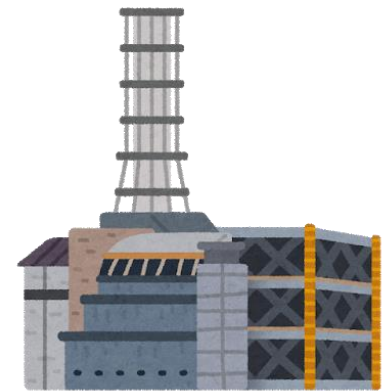
### 現存被ばく状況

- ・ 既に被ばく
- ・ 防護の考え方難しい



### 緊急時被ばく状況

- ・ 放射線事故



# 現存被ばく状況における再生生用に関する安全確保のための防護の体系の構築

福島県内 = 現存被ばく状況??

防護の体系の構築



環境中に放射性核種が飛散

汚染物をどうする？

- ・ 放置
- ・ 全量管理
- ・ 再生利用
- ・ etc



博士研究ではひとつの案として再生利用を選択



現存被ばく状況における再生利用で生じる被ばくからいかに公衆・作業者を防護するか？

## 安全評価手法の開発

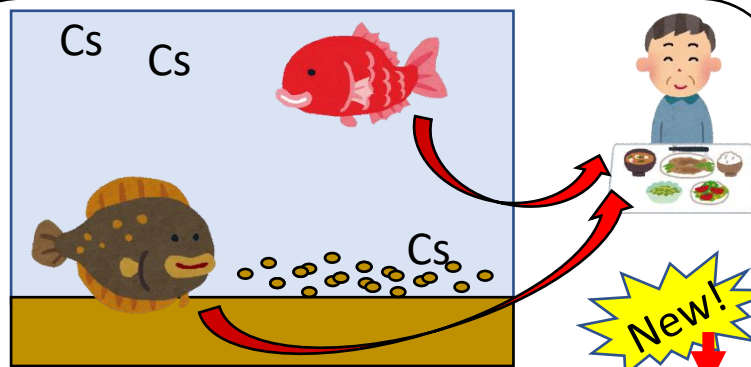
構築した防護の体系を適用したケーススタディ

- ・ 除去土壌の海面埋立地への再生利用
- ・ 1F敷地内に限定したがれきの再生利用



ケーススタディの安全評価を実施する際に必要となる評価手法を開発

開発した安全評価手法例



海洋中の核種移行（溶存態、懸濁態）を考慮した被ばく線量評価手法